MORLIN
http://morlin.sakura.ne.jp
http://www.morimatsu.net
森松株式会社社内報
波紋
創刊 1985 年（昭和 60 年）7 月
2015 年 12 月
No. 366 号

PVCデザインアワード2015受賞！！

今年で５回目となる「PVCデザインアワード2015」森松は東京オフィス大石耕平さんが入賞、本社大和田さんが奨励賞を受賞しました。森松では、賞を取ることを目標に今年は小さなチームを複数作りチームで一点商品を作りました。来年も頑張って賞を取りたいと思います！　柳原　瞬

貼れるスリッパ

「PVCデザインアワード・入賞です！」

社長　森　直樹

さて今年も開催されましたPVCデザインアワード、弊社は東京オフィスの大石さんが入賞、そして本社の大和田さんが奨励賞を受賞することが出来ました。おめでとうございます！ 年々レベルの上がっているこのアワード、今後も塩ビ業界の活性化、そして塩ビという素材の新たな可能性を追求するべく、森松も微力ながら盛り上げていきたいところです。入賞するためにはアイデアもさることながらそれをいかに伝わる形にするかが大切です。自分の関わる業界という前提があると、別の業界からすると意外なことも、「アタリマエ」のこととしてさほど注目しないかもしれません。しかし、いかに一般の方からの視点を想像するかで魅力的なアピール方法も浮かんでくるのではないでしょうか。「デザイン」アワードなのでデザインが優秀であることは当然の入賞条件です。その点においては森松は決して得意な分野では有りませんが、そこは森松の持つネットワークを活用していくことでより良いものを開発・製造していければと思います。今回のアワードに際して、ご協力いただきました皆様、そして森松の皆さんもお疲れ様でした。来年も楽しみですね！

また、最近は弊社社内報も6年前よりウェブサイト上で掲載を開始したおかげで、毎月楽しみに読んでいます・・・という声もいただけることが度々有ります。紙から電子版にした直後は、廃刊になったのかと思われるほど電子版が認知されておりませんでしたが、新規のお客様には事前に弊社サイトを見ていただくことで社内報も読んで頂くこともあり、非常に有り難いことです。また今後は弊社サイト自身のリニューアルも進めてまいりますので、より皆様の役に立つ情報を発信していければと思います。今後共よろしくお願い致します！

奇跡

吉岡　考記（営業部）

先日ラグビーワールドカップがニュージーランド（オールブラックス）の優勝で幕を閉じました。今大会の日本チームの活躍には目を見張るものがありました。さてラグビーにワールドカップがある事をどれだけの人が知っていたのでしょうか。ワールドカップと言えばやはりサッカーが有名です。ラグビーの名選手と言っても新日鉄釜石の松尾選手や神戸製鋼の平尾、大八木選手ぐらいしか思い浮かびません。ほとんど知られていないかもしれませんが、平尾、大八木選手はテレビドラマになったスクールウォーズが有名で少しの間ブームになりましたが長くは続かなかったと思います。日本のラグビーの実力と言えば世界と比べると本当に弱く高校生と社会人ぐらいの実力差があるように感じるぐらい、レベルの差がありました。点数で言えば3桁ぐらいの差で負けるような感じかな。でも今回日本チームの躍進は素晴らしかった。南アフリカ戦は、最後の最後で引き分けにできるチャンスを捨てて勝負に行った時は、信じられませんでした。南アフリカを破った時は無意識に握りこぶしを突き上げていました。久しぶりの感動でした。奇跡と言ってもいいぐらいの勝利でした。番狂わせの少ないといわれラグビーで世界ランク3位の南アフリカに勝つなど誰が予想したでしょうか。世界から称賛を受けたのも当然です。しかしなぜこんなに強くなったのか不思議でした。インタビューなど聞いていると世界で一番練習したというぐらいの練習量と意識改革があったように感じました。団体競技はチームワークが大事とよく言われます。もちろんチームワークも大事ですが、ボールを持った瞬間に個々が次の展開をどうするのか瞬時に決断できないと世界では通用しないと言われます。昔サッカーの試合を見ていてパスは上手く回すのですが、だれもシュートを打たない、自分で打開しようとする力、勇気の問題でしょうか。次回4年後は日本で開催されます。今回のようなチームを作りまた、感動をさせてくれる事を期待したいものです。でも五郎丸フィーバーはちょっとやりすぎかな～。

西国三十三所巡礼

安井　浩二（企画営業部）

10月の晴れた休日に両親と家内、息子を連れて「たへ行つ長か所行に
ぐ御てみさの愛称で親しまれて十三所巡礼
ていらでつ足腰が悪くなり、杖に頼って生活するのに苦労しています。
も階段が上り下りの目的は西国三十三所巡礼の最後の寺です。
80歳過ぎの高齢の母親を連れて、朱印を授かる為に本堂まで長い階段を登りました。
び朱印帳を授かる為に本堂まで長い階段を登りました。
経帳とい様子でにし御朱印を授かる為に本堂まで長い階段を登りました。
納経軸でき御朱印を授かる為に本堂まで長い階段を登りました。
経と訳念願の満願結願となりました。
特に信仰心が強い両親で結願となりました。
旅行を兼ねてこんびりと三十三所巡礼を始めました。
行を兼ねてこんびりと三十三所巡礼を始めました。
そうです。この日を迎えるまでに第一番の那智山振り返れば青岸渡寺から始まり、約20年かかりました。
ば母親の脳梗塞もあり、何年も出かけられなかった。
母親の脳梗塞もあり、何年も出かけられなかった。
親父も今では長距離の運転ができなくなっている。
親父も今では長距離の運転ができなくなっている。
当時の両親は、ここまでの年数がかかることを想像もしなかったでしょう。
「これで一段落したのか親父はこれからでいつお迎えが来るのか・・・」
「これで一段落したのか親父はこれからでいつお迎えが来るのか・・・」
「ここまで生きてこれたのは、ご縁起のお陽様のお陽様のイナスの言葉。
「ここまで生きてこれたのは、ご縁起のお陽様のお陽様のイナスの言葉。
逆に母親は「ここまで生きてこれたのは、ご縁起のお陽様のお陽様のイナスの言葉。
逆に母親は「ここまで生きてこれたのは、ご縁起のお陽様のお陽様のイナスの言葉。
言葉。もうなるべく時間を作って、三十三連
言葉。もうなるべく時間を作って、三十三連
真逆の考え方50年以上連れ添って生活してきた。
真逆の考え方50年以上連れ添って生活してきた。
思えばこの違いに夫婦っていないと思います。
思えばこの違いに夫婦っていないと思います。
難しいことの先も二人が揃って、遠出ができる
難しいことの先も二人が揃って、遠出ができる
ましたこと。なるべく時間を作って、三十三連
ましたこと。なるべく時間を作って、三十三連
行ってみようと思います。
行ってみようと思います。
巡礼もこの西国三十三連
巡礼もこの西国三十三連
両親とあげたいと思います。
両親とあげたいと思います。
同じようにこのことでしょう。
同じようにこのことでしょう。
機会をみてこのプラス・・・？
機会をみてこのプラス・・・？

戦力外通告

西垣　浩司（森松産業）

今年も戦力外通告を受けている選手が各球団で契約解除や選手整理を意味する言葉。身体能力の低下や怪我や成績など様々な理由で戦力構想から外れ、起用されない選手が多い。残留が選手らに通告される。球団関係者は「戦力外通告を受けた選手は、現役続行か引退かを自分で決めるのが筋だ」と話す。

来年の選手登録人数は70人（ウエーバー希望者を除く）。球団は今後も補強を進める。

昨年は12球団で計14人が戦力外通告を受けた。今年は投手12人、野手2人。内訳は、ベテラン選手33人、若手選手12人。

球団関係者は「今年は、ベテラン選手の整理を進めた。若手の育成を優先した。戦力外通告は、選手の人生を大きく変える。球団として、選手の再就職を支援する。選手の希望を聞いて、球団関係者が、選手の再就職を支援する。球団は、選手の再就職を支援する。球団は、選手の再就職を支援する。球団は

12月の予定

2日（水）　円道陽子さん誕生日
5日（土）　第1土曜日休み
12日（土）　第35回家族忘年会開催
会場：中日パレスビル5F
時間：11時30分～13時30分
18日（金）　森松産業棚卸
19日（土）　第3土曜日休み
22日（火）　生産会議　12時～
CS会議　14時10分～
23日（水）　天皇誕生日
26日（土）　仕事納め

森松株式会社のオリジナルキャラクター
守り隊の『マモーリン』誕生しました！

LINE　BUY NOW!

このたびLINEスタンプデビュー☆
全40種類100円で販売しています！
いますぐクリックしてね！

森松株式会社　社内報　MORLIN
No: 366　平成27年11月26日
編集者
大石耕平　小原龍一　伊東義弥　近藤怜
柳原　瞬　小坂美香　橋野徳明　稲葉　善貴

バーベキュー

藤木　方子（森松産業）

今年の夏は、知多半島にある魚太郎の浜焼きバーベキューへ友人達と行きました。魚太郎のバーベキューは、三河湾を目の前に、その日獲れたての魚介類を焼いて食べることができます。まずは受付で、一人500円の席料を払って席に案内されます。席が決まったら食材選びをします。食材のところに置いてあるトレーを持って、冷蔵ケースには、ロブスター、エビ、アワビ、ハマグリ、大あさり、ホタテなどの海鮮がいろいろ並んでいます。他には、肉類、串もの、野菜、フルーツなどがたくさん並んでいます。そこから自分の食べたい物を選んでトレーに取ります。食材を選んだらレジで会計を済ませて、飲み物を別の所で買って席に戻り、網がセットしてあるバーベキューグリルは、始めから炭が入って火がついているので、火を起こす必要がありません。思い思いに食材を網の上に乗せて焼き、焼ける間は楽しく話をしていたら、魚介類はいい匂いがしておいしく焼けました。しかし野菜は・・・真っ黒になってしまいました。やはり、火の番をする人が必要ですね。帰る時は、片付けをしなくてもいいのですごく助かります。みんなでよく飲んで、食べてお腹いっぱいになって帰りました。